



柏の自然を知ろう

自然環境学専攻では、野外調査を重視した研究・教育活動を展開しています。学生による実習調査の成果を紹介します。

海から陸へ、牧場から軍事基地、そして大学へ！

柏キャンパスを含む北総台地には、縄文時代には海(入江)がありました。その後、江戸幕府の直轄する馬の放牧地となり、さらには飛行場米軍基地を経て、東京大学のキャンパスへと生まれ変わりました。周囲の自然はどのように変わってきたのでしょうか？

2012年度の実習と研究テーマ

2012年度は地形、水質、生物、植生の各分野で実習を行った後、こんぶくろ池公園周辺にて野外調査を行いました。班ごとにデータ解析・ディスカッションを進め、最終回にプレゼンテーションをおこないました。

- ・こんぶくろ池の地形を測量し、ボーリングコアを分析しました。
- ・こんぶくろ池や弁天池の水質を測定してみました。
- ・植物による水質改善は可能？
- ・こんぶくろ池周辺の毎木調査をおこないました。
- ・柏キャンパス内緑地の希少種や放射能測定結果も紹介します。

関連展示: 自然環境学研究室パネル紹介

連絡先: 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 自然環境学専攻
南雲直子 <nagumo@nenv.k.u-tokyo.ac.jp>



上の写真: 柏キャンパスと
こんぶくろ池公園の緑



左の写真: 実験室での
水質分析実習の様子